



# 大和中 スマイル通信

2024 年度 No. 1

「読み聞かせサークルスマイル」

大和中学校のみなさん、こんにちは。

今年も読み聞かせがはじまりました。楽しんでいただいていますか？読んだ本の感想やみなさんの好きな本の話など、いつでも聞かせていただけたら嬉しいです♪一緒に本の世界を楽しみましょう^^

ご家族やお知り合いで、読み聞かせにご興味ある方がいらっしゃったら、ぜひお声かけください！お父さんも大歓迎ですよ～！！

5月31日(金) ～活動報告より～

クラス	読んだ本	作者	出版社
1-1	絶望は神様からの贈りもの	ひすい ことろう	SB Creative
1-2	あおい目のこねこ	作・絵：エゴン・マチーセン 訳：せた ていじ	福音館書店
1-3	ランドセルは海を越えて	内堀 タケシ	ポプラ社
1-4	橋の上で	湯本 香樹実	河出書房新社
1-5	ねこ と ことり	作：たての ひろし 絵：なかの真実	世界文化社
1-6	かるがるマルチリングル♪ ～秘訣は“勉強しない”こと！～	ヒッポファミリークラブ SARNIN	Galaxy Books
2-1	コックの ぼうしは しっている	シゲタサヤカ	講談社
2-3	おかあさんはね I Wish You More	文：エイミー・クラウス・ ローゼンタール 絵：トム・リヒテンヘルド 訳：高橋久美子	フレーベル館
2-4	きたかぜとたいよう	バーナデット・ワッツ 著 もき かずこ 訳	西村書店
2-5	くいしんぼうのクジラ	谷口 智則	あかね書房
3-1	ものがたりが うまれるとき	デボラ・ホプキンソン 作 ハドリー・フーパー 絵 せなあいこ 訳	評論社
3-2	ピヤキのママ  てっかくん	作：ペク・ヒナ 訳：長谷川 義史 さとう めぐみ	ブロンズ新社  教育画劇
8組	てをつなぐ	鈴木まもる	金の星社

<p>○ ピヤキのママ</p> 	<p>作：ペク・ヒナ 訳：長谷川 義史</p> <p>やっかいもののねこのニャンイが、なぜかにわたりのたまごを食べたらひよこを生んで、かわいいと思い大切に育てる話です。まわりもニャンイからピヤキのママと呼ぶようになりますが、ニャンイは嬉しそうです。</p> <p>手作り人形を撮影する独自の技法で話題となった、韓国の大人気絵本作家ペク・ヒナさんの初期の作品。迫力のある表情のニャンイと、愛らしい動きをするピヤキの組み合わせは、味わい深くて魅力的。「大好物から生まれた家族愛」なんて、奇妙な設定。なのに、なんだか可笑しくてあたたかな気持ちになってしまうのです。</p>
<p>○ ねことことり</p> 	<p>作：たての ひろし 絵：なかの真実</p> <p>こぶしの枝を集めて生計を立てる猫と、生まれてくる小鳥たちのためにこぶしの枝を必要とするお父さん鳥が、友情を深めていく作品です。</p> <p>なかの真実さんの絵がとても細密で美しく、思わず購入してしまいました。この絵本は文章だけでなく、絵を見ても癒されます。</p> <p>書店で、図書館で、もし見かけたらぜひ手にとってください^^。</p> <p>環境が違って、互いを思い、歩み寄るー</p> <p>ねことことり、それぞれの視点から見える、“しあわせ”とは？日々の営み、共生、命の循環を、美しい細密画でドラマチックに描きます。</p>
<p>○ものがたりが うまれるとき</p> 	<p>作：デボラ・ホプキンソン 絵：ハドリー・フーパー 訳：せな あいこ</p> <p>少年が真っ白な紙に物語を書こうとするが、なかなか書けない。ふと窓の外を見ると、小鳥がたねを一つずつ、ついでに巣に運ぶ様子に気づく。少年は再び紙に向かい、ひと言ずつことばを書きはじめていく…。</p> <p>娘が入試の時に志望動機がなかなか書けず、苦労していたのを思い出し、中3の皆さんに、普段から自分の気持ちを文章にする練習をしておいてほしいなと思い、この本を選びました。</p> <p>なにかを生み出そうとした時。それが大変な作業だということは、一度でも経験したことがある人ならわかるはず。この絵本を読んではげまされる子どもたちや、勇気をもたらす大人も多いことでしょう。</p>
<p>○あおい目のこねこ</p> 	<p>作・絵：エゴン・マラーセン 訳：せた ていじ</p> <p>初めて見る子が多いのか、目をキラキラして聞き入ってくれました。いろいろな子がいて、それでいいんだよーが、遠回しても伝わるといういな…。</p> <p>ポジティブです。きわめて前向きなこねこです。ひどい目にあっても、「なーに、こんなこと、なんでもないや」と意に介しません。こんな気楽なこねこの考え方に学ぶところは多いのではないのでしょうか。</p> <p>この飄々としたスタイル、一読の価値があります。</p>

